

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2026年 4月号 No,415

# 木の森のおくいの4

トンボの沢



4月は観察の森で一番華やぐ季節であり、カタクリやスミレ類などが花開き、カタクリにはヒメギフチョウが訪れる姿が楽しめる月でもあります。トンボの沢に咲く可憐なニリンソウの群生を愛でながら、静かな癒しのひと時はいかがでしょうか。最後退任するにあたり、お世話になりありがとうございました。観察の森が豊かな環境であり続けますように。【旧館長：佐藤】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『湧く泉にも水涸れあり（わくいずみにもみずがれあり）』

これまで桜の開花について、今後は時期が遅くなるかもしれないと書いてきましたが、今年は桜の開花が早いというTVの放送を観て、改めなければならぬと思いました。今までは、温暖化で冬も気温が高いと一定期間の低温を経て休眠状態を解除し春に花を咲かせるシステムが発動されず、開花が遅れると考えていたからです。ところが、温暖化の影響で酷い暑さの夏と酷く寒い冬の両極端になるといわれているので、冬の寒さが十分あり、早いうちから暖かくなれば、開花するのが早くなると思われます。現に東京では、平年より5日早い開花となりました。仙台では平年より8日早くなる予想です。

春の植物の開花に大切なのは、雨がポイントになると思います。季節の言葉にも、二十四節気の「雨水」や花の開花を促す雨の催花雨（さいかう）があります。今年は、雪が少なく乾燥しているせいか、早春の植物の開花は、いつもより早くても思うほど進行しませんでした。雨が降った後咲き進みました。

植物にも水は大切ですが、私たち人間にとっても重要なものです。春の雪解け水は、水源地のダムを満たしてくれます。雪は降る所には困るほど降りましたが、降って欲しいところには降っていないようです。各地でダムの渇水や乾燥のため山火事が発生したというニュースを見て心配になります。

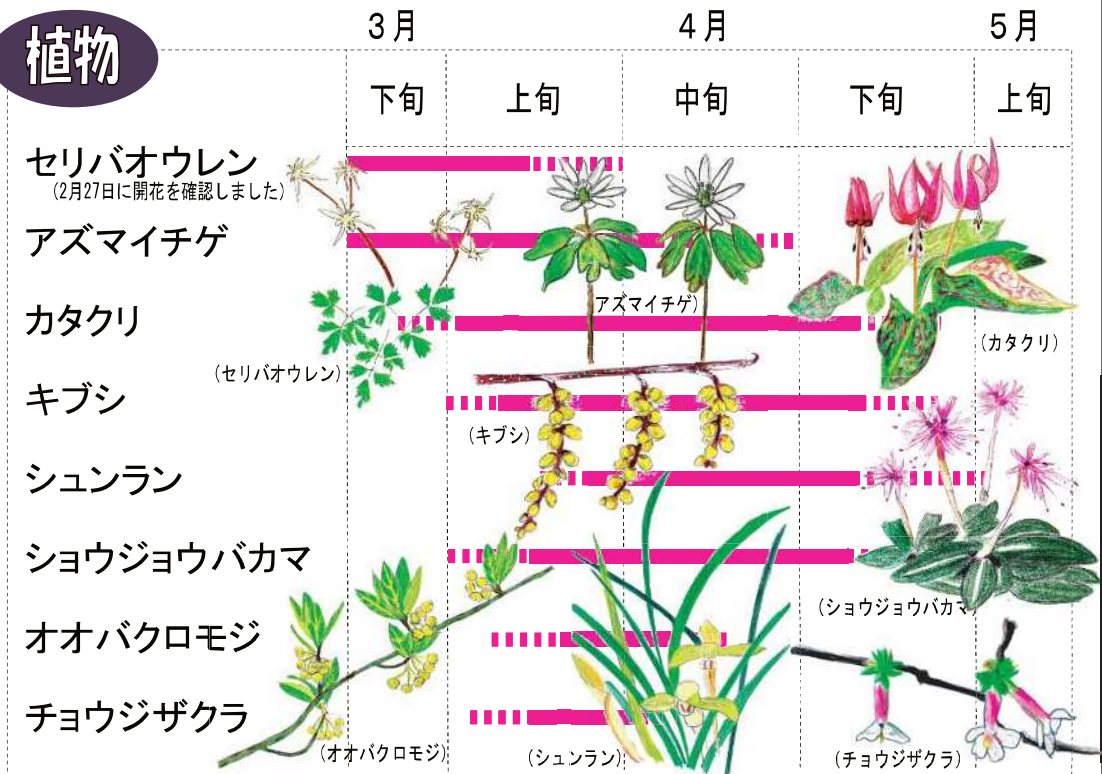
「湧く泉にも水涸れあり」という言葉があります。「絶え間なく水が湧き出る泉であっても、時には水が涸れてしまうことがある」ことから「どれほど豊かで絶対に見えるものでも、無限ではなく尽きる時がある」という例えです。私たちは、水はタダだと思ってしまう感覚があります。あの日、大変な経験をしたのに、切羽詰まった状況でないと水不足の危機を感じていない気がします。

「常に恵まれた状況にある時ほど、その状況が永久に続くと思って油断してはならない」という教訓でもあります。何気ない日常が恵まれていることに、不安定な情勢の中で平和のありがたさを感じます。 【レンジャー：新田隆一】



# 4月の生物ごよみ

## 植物



「蝶の野原」では、3月17日にカタクリの開花を確認しました。昨年よりも6日ほど早く、森は一気に春めいています。現在はタチツボスミレやショウジョウバカマなどが見頃です。4月は年間で最も多くの花々が咲き誇るベストシーズンです。昨年は1カ月で約130種もの植物の開花が確認されました。今しか会えない春の彩りを探しに、是非お越しくください。  
【レンジャー：齋 正宏】

## 動物



※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが3月～10月の間になる。

# 森の「あれこれ」



## 「春の花たち、春の蝶たち」



3月も中旬を過ぎ下旬になると観察の森では春の気配が濃くなり、アオイスミレ（左上の写真、以下時計回りに）、ナガハシスミレ、タチツボスミレ、マキノスミレ、そしてヒナスミレなどスミレの仲間が咲きました。アズマイチゲやキクザキイチゲもあちこちでひらき、そしてカタクリが早くも見ごろです。



まるで花の咲くのを追っつようにキタテハ、シータテハ、ルリタテハなど冬越しの蝶も目覚め、“ひなたぼっこ”をしている姿が見られます。そして羽化したばかりのミヤマセセリが姿を見せてくれると“春が来た”と実感します。

この原稿をまとめているのは3月の28日ですが、なんと！ヒメギフチョウ出現！との情報がありました。天気の良い暖かい日に探してみましよう♪4月上旬が見頃ですが昨年最後の確認は4月19日でした。

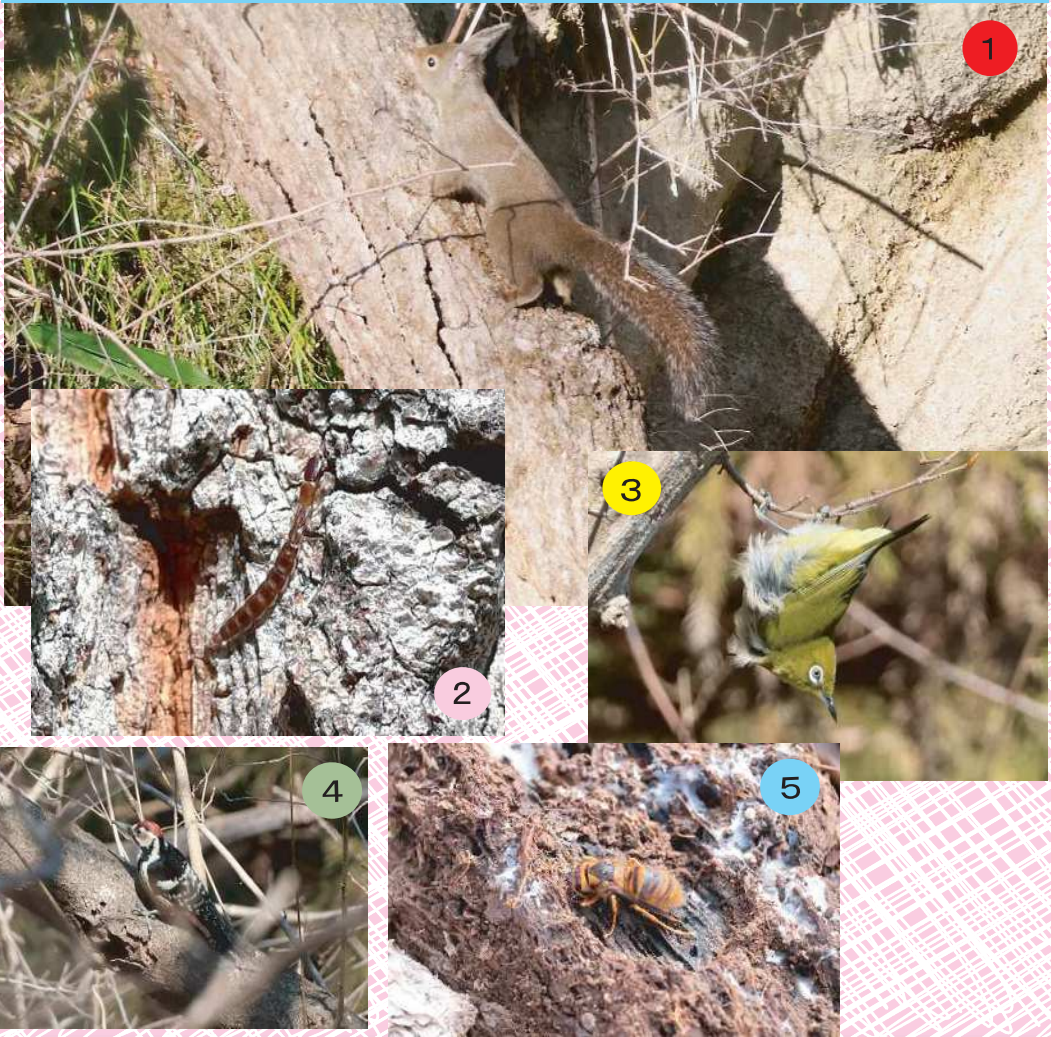
あっという間に季節はめぐります。

【レンジャー：木田秀幸】

# いきものの森



①「ニホンリス」です、ふさふさの尻尾は、木の上でバランスをとったり、降りる時のパラシュートの役目をすると言われてます。② 昆虫類のなかでも最も原始的で、生きた化石ともいわれる「ラクダムシ」の仲間の幼虫です。③ 白いアイリングが可愛い「メジロ」④ 大型のキツツキの仲間「オオアカゲラ」です。⑤ 冬眠してました、これから巣作りで忙しくなる「キイロスズメバチ」の女王です。



今月からは題名を「いきものの森」に変えてスタートしました、いつも森の中を歩くと気付くのですが、同じ場所でも常に新しい発見があります。その時にしか見られない風景や生き物たち、そんな森の様子を少しですが、みなさんに紹介できたらいいかなと思います。

【レンジャー：菅井 潤】

# イベント & お知らせ



## ◆「春の秋保二口林道ウォーキング」

- ・ 4月25日(土) 10:00 ~ 14:00
- 【対象】小学生以上 (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 4月17日(金) 必着(抽選)

## ◆「はじめてバードウォッチング」②「〃 ~さえずりを楽しもう」

- ・ ①4月29日(水・祝) ②5月16日(土) 10:00~12:00 (両日)
- 【対象】小学生以上 (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】①Eメールにて 4月19日(日) 必着(抽選)
- 【申込み】②Eメールにて 5月1日(金) 必着(抽選)

## ◆「おはよう野鳥かんさつ」

- ・ 5月9日(土) 6:30 ~ 8:00
- 【対象】どなたでも (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 4月27日(月) 必着(抽選)

## ◆「はじめての親子生き物観察」

- ・ 5月17日(日) 10:00 ~ 11:30
- 【対象】小学生以上の親子
- 【申込み】Eメールにて 5月8日(金) 必着(抽選)



※ 申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp

自然観察の森の最新情報やイベントへのお申込み、  
「森のおくりもの」バックナンバーはQRコードから



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 4月の休館日

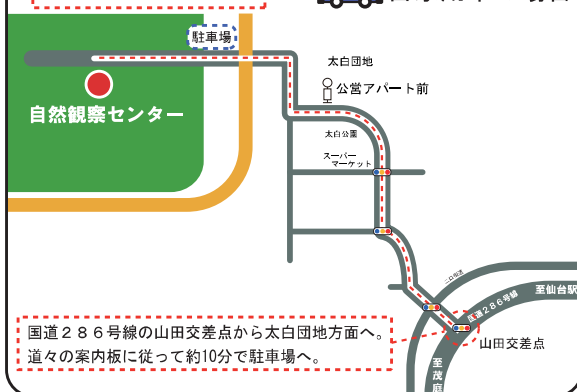
毎週月曜日(6日、13日、20日、27日)

※月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日が休館

駐車場から徒歩約5分で到着



自家用車の場合



国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間約10分

※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」

【先行】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

2026年 4月号

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133